



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 瑞光

コード番号 6279 URL <https://www.zuiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅林 豊志

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 藤川 昌治 TEL (072) 648-2215

四半期報告書提出予定日 2021年12月28日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年2月21日～2021年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	15,408	7.4	1,216	36.8	1,443	58.5	971	36.8
2021年2月期第3四半期	14,348	△22.6	889	△44.5	910	△40.4	710	△32.3

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,869百万円 (303.9%) 2021年2月期第3四半期 462百万円 (△11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	36.98	36.77
2021年2月期第3四半期	27.05	26.90

(注) 当社は、2020年8月21日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	51,621	28,909	55.8	1,095.33
2021年2月期	42,325	27,480	64.7	1,041.69

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 28,792百万円 2021年2月期 27,364百万円

(注) 当社は、2020年8月21日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	10.00	-	11.25	-
2022年2月期	-	6.20	-	-	-
2022年2月期（予想）	-	-	-	7.55	13.75

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、2020年8月21日を効力発生日として、普通株式を1株につき4株の割合で株式分割を行っており、2021年2月期の1株当たり配当実績につきましては、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間の配当実績につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、中間配当の基準日時点で株式分割が行われていたと仮定した場合の中間配当金の額は1株につき2円50銭となり、期末配当との合計である年間配当金の額は1株につき13円75銭となります。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年2月21日～2022年2月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	12.6	2,200	16.3	2,200	4.6	1,530	△5.6	58.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	28,800,000株	2021年2月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	2,513,088株	2021年2月期	2,530,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	26,282,712株	2021年2月期3Q	26,269,280株

（注）当社は、2020年8月21日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記の業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心とした新型コロナウイルスワクチン接種の進展と積極的な経済対策に支えられ、全体として緩やかな回復がみられました。またわが国においても、ワクチン接種が進んで感染者数も減少傾向となり、9月末には緊急事態宣言も解除されるなど、経済活動の改善に向けた動きがみられました。一方で、世界的な部材不足や物流の停滞といった供給制約の問題が発生しており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような経済環境のもと、当社グループは、受注済みのプロジェクトを着実に進行させ、採算管理を徹底することで収益性向上に努めるとともに、オンラインでの営業活動や展示会への出展により、将来の業界動向をふまえた設備投資計画に関する情報を収集し、受注強化に努めてまいりました。また、サステナブル社会の実現に向けて、使用済紙おむつのリサイクルにつき、パートナーとの連携による情報収集・潜在顧客へのアプローチをより一層強化しています。さらに当連結会計年度より、新本社工場を本格稼働させて、工場集約による生産性の向上とともに、革新的なモノづくりを実践していくことで、今後の成長に向けたマザー工場としての基盤づくりに取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、15,408百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は1,216百万円（同36.8%増）、経常利益は1,443百万円（同58.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は971百万円（同36.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9,295百万円増加し、51,621百万円となりました。建設仮勘定が4,782百万円、受取手形及び売掛金が1,591百万円及び原材料及び貯蔵品が167百万円減少いたしましたが、建物及び構築物が5,834百万円、仕掛品が4,062百万円、現金及び預金が2,376百万円、電子記録債権が1,724百万円、機械装置及び運搬具が229百万円及び投資有価証券が153百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,867百万円増加し、22,712百万円となりました。電子記録債務が155百万円減少しましたが、前受金が3,691百万円、長期借入金が2,750百万円、長期未払金が477百万円、未払法人税等が351百万円、支払手形及び買掛金が295百万円及び短期借入金が250百万円増加いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,428百万円増加し、28,909百万円となりました。為替換算調整勘定が792百万円、利益剰余金が513百万円及びその他有価証券評価差額金が105百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が不透明であることから、2021年4月5日に公表いたしました連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,530,771	12,907,525
受取手形及び売掛金	6,257,339	4,665,484
電子記録債権	1,080,031	2,804,163
商品及び製品	65,627	109,221
仕掛品	4,774,995	8,837,472
原材料及び貯蔵品	1,710,226	1,542,278
その他	926,083	1,761,322
貸倒引当金	△70,479	△80,110
流動資産合計	25,274,595	32,547,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,372,207	8,207,087
機械装置及び運搬具（純額）	788,151	1,017,730
土地	6,014,199	6,056,535
リース資産（純額）	23,104	16,058
建設仮勘定	5,205,418	422,518
その他（純額）	179,695	578,757
有形固定資産合計	14,582,778	16,298,687
無形固定資産		
796,586		820,815
投資その他の資産		
投資有価証券	1,533,171	1,686,705
退職給付に係る資産	1,688	6,565
その他	137,043	261,280
投資その他の資産合計	1,671,903	1,954,551
固定資産合計	17,051,268	19,074,054
資産合計	42,325,864	51,621,412

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,081,091	2,376,656
電子記録債務	3,915,553	3,760,026
短期借入金	—	250,000
リース債務	14,622	4,921
未払法人税等	141,408	492,593
前受金	2,598,018	6,289,820
賞与引当金	287,640	378,083
役員賞与引当金	36,414	25,290
その他	714,627	853,616
流動負債合計	9,789,378	14,431,008
固定負債		
社債	5,000,000	5,000,000
長期借入金	—	2,750,000
資産除去債務	28,161	28,161
リース債務	15,109	13,397
長期未払金	11,590	489,484
その他	758	176
固定負債合計	5,055,619	8,281,220
負債合計	14,844,997	22,712,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,888,510	1,888,510
資本剰余金	2,750,330	2,764,134
利益剰余金	23,737,574	24,250,991
自己株式	△596,693	△592,495
株主資本合計	27,779,721	28,311,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	890,852	996,095
土地再評価差額金	△1,165,229	△1,165,229
為替換算調整勘定	△141,882	650,918
退職給付に係る調整累計額	795	△66
その他の包括利益累計額合計	△415,464	481,717
新株予約権	116,610	116,325
純資産合計	27,480,866	28,909,183
負債純資産合計	42,325,864	51,621,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)
売上高	14,348,699	15,408,436
売上原価	11,663,123	11,924,056
売上総利益	2,685,576	3,484,380
販売費及び一般管理費	1,796,448	2,267,790
営業利益	889,127	1,216,589
営業外収益		
受取利息	96,253	94,229
受取配当金	32,595	31,969
為替差益	—	58,723
受取保険金	—	30,776
その他	24,008	35,403
営業外収益合計	152,857	251,101
営業外費用		
支払利息	5,551	4,687
社債利息	—	18,049
為替差損	122,522	—
その他	3,249	1,329
営業外費用合計	131,323	24,066
経常利益	910,661	1,443,625
特別利益		
固定資産売却益	1,173	2,900
投資有価証券売却益	17,604	—
特別利益合計	18,777	2,900
特別損失		
固定資産除却損	2,838	7,818
特別損失合計	2,838	7,818
税金等調整前四半期純利益	926,600	1,438,707
法人税、住民税及び事業税	155,237	599,286
法人税等調整額	60,685	△132,501
法人税等合計	215,923	466,784
四半期純利益	710,677	971,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	710,677	971,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)
四半期純利益	710,677	971,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,871	105,243
為替換算調整勘定	△375,000	792,801
退職給付に係る調整額	2,185	△862
その他の包括利益合計	△247,942	897,181
四半期包括利益	462,734	1,869,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462,734	1,869,104
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

従来、当社の原材料のたな卸資産の評価方法として、先入先出法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より移動平均法による原価法に変更しております。

この変更は、新システムが第1四半期連結会計期間に稼働したことを機に、移動平均法にて在庫評価を行う方が、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことができると判断したことによるものです。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を第1四半期連結会計期間の期首残高として計算しております。

また、この変更による影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響につきましては一定期間継続し、2021年度中に徐々に回復が見込まれることを前提としております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の広がりにもなう経済活動への影響等には不確定要素も多いため、前提に変化が生じた場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。